

鎌倉市川喜多映画記念館 特別展のご案内

[特別展] サスペンス・ミステリー映画の^{あや}奇しい世界

会期：2025年11月30日（日）－2026年3月29日（日）

企画展観覧料：一般 500 円、小・中学生 250 円 ※鎌倉市民は無料（要証明書）

観客の心を惹きつけるサスペンス・ミステリー映画には、先人たちの編み出した巧みな演出上の工夫や効果を高めるための叡智が込められています。

英国からハリウッドに招かれたアルフレッド・ヒッチコックは、1940年に渡米第一作『レベッカ』を発表します。この頃からジャンル名としての「サスペンス」が定着し、ヴァラエティ誌の映画欄には「ミステリー」や「フーダニット」とともに、ジャンルを指し示す用語として登場するようになりました。50年代に傑作をいくつも作り上げ、“マスター・オブ・サスペンス”と称されたヒッチコックは、人々の平穏な日常の中に潜む「犯罪」や「疑惑」を描いて人気を博します。60年代以降、登場人物の心理状態に重点を置いた作品は「サイコスリラー」と呼ばれ、夢や回想、曖昧な記憶を扱った映像表現に様々な工夫がなされるようになりました。宙吊りにされた不安な状態がもたらすスリルを味わうサスペンス映画と、謎解きの過程を楽しむミステリー映画、重なり合うことの多いこの2つのジャンルは、より複合化した現代映画において、様々な料理に溶け込むスパイスのように効果を発揮しています。

本展では両ジャンルの古典から近作までを取り上げ、その魅力に迫ります。スリルと謎に満ちた展開で私たちを楽しませ、魅了してきたサスペンス・ミステリー映画の〈奇しい世界〉をご堪能ください。

〈奇しい世界〉とは

「あやしい」には＜怪・妖・異・奇＞の4文字があり、いずれも不可解で謎めいたもの、神秘的・魔術的、奇妙奇天烈な世界をあらわしています。^{マジック}奇術から発展した映画史上の画期的演出術の数々に敬意を表し、本展では「奇しい」と表記します。

◆特別展見どころ◆

- ★サスペンス・ミステリー映画における主要なカテゴリーをご紹介します。作品の世界観を凝縮したような奇しいデザインのポスターを中心に展示。
- ★ヒッチコック、キューブリックら巨匠たちの作品から近年の話題作まで、「奇しい世界」を描いた珠玉の16作品を上映。
- ★ホラー作家の平山夢明さんやポスターコレクターの小野里徹さん等様々な専門家をお招きして、奇しい映画について語りつくす対談形式のトークイベントを開催。

◆上映作品：サスペンス・ミステリー映画を古典から近年の話題作まで16作品を上映◆

『アイズ ワイド シャット』（1999年／R18+）
 『博士の異常な愛情 または私は如何にして心配するのを止めて水爆を愛するようになったか』（1964年）
 『三十九夜』（1935年）
 『バルカン超特急』（1938年）
 『断崖』（1941年）
 『女の中にいる他人』（1966年）
 『レイクサイド マーダーケース』（2004年／R15+）
 『教皇選挙』（2024年）
 『エドガルド・モルターラ ある少年の数奇な運命』（2023年）
 『ガタカ』（1997年）
 『ダーク・ウォーターズ 巨大企業が恐れた男』（2019年）
 『キャット・ピープル』（1942年）
 『マルホランド・ドライブ 《4K レストア版》』（2001年／PG12）
 『探偵 〈スルース〉』（1972年）
 『氷の微笑 《4K レストア版》』（1992年／R18+）
 『聖なる鹿殺し』（2017年／PG12）

映画鑑賞料金：一般 1300 円、小・中学生：650 円（展示観覧料含む）

*当館では《4K》と記載されている場合でも《2K》上映となります。



博士の異常な愛情
 または私は如何にして心配するのを止めて
 水爆を愛するようになったか（1964年）



断崖（1941年）



マルホランド・ドライブ
 《4K レストア版》（2001年）

◆トークイベント◆

2026年2月7日(土) 14:00～

トークイベント

「平山夢明とポスターマンの ストレンジラブな映画の話」

ゲスト

平山 夢明 さん × 小野里 徹 さん
(ホラー作家) (ポスターコレクター)

「独白するユニバーサル横メルカトル」(日本推理作家協会賞)や「ダイナー」など刺激的な小説を発表し、恐怖や不安に引き込まれる心理を分析した「恐怖の構造」の著作でも知られる平山夢明さん。

近年ではYouTubeや名画座のアフタートークで映画を紹介し、その人柄と語り口から熱い支持を得ています。今回は小野里徹さんが本展に提供してくださったポスターコレクションを中心に、奇しい映画や偏愛する作品について語っていただきます。

料金: 一般1300円、小・中学生: 650円(展示観覧料含む)

◆特別上映◆

2026年3月21日(土) 13:30～

特別上映

『探偵〈スルース〉』上映+トークイベント 「マンキーウィッツとサスペンス映画」

ゲスト

須藤 健太郎 さん × 上條 葉月 さん
(映画批評家) (字幕翻訳者・文筆家)

ハリウッドの巨匠マンキーウィッツの遺作『探偵〈スルース〉』上映後、トークイベントを開催します。気鋭の映画批評家・須藤健太郎さん(著書「評伝ジャン・ユスターシュ」「作家主義以後」)と、「ヒッチコックとストーリーボード」(トニー・リー・モラル著)の翻訳者で、文筆家としても活動されている上條葉月さんにお越しいたします。

特別上映料金: 一般1900円、小・中学生: 950円(展示観覧料含む)

展示中の映画資料 (※一部)

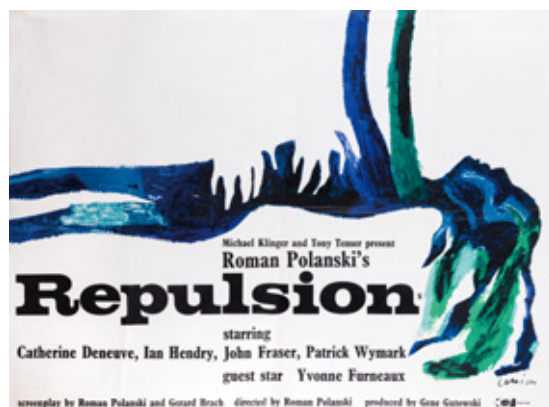
- ★サスペンス・ミステリー映画のポスターを中心に約140点を展示中。
- ★ポスターコレクターが所蔵する資料は、公開の機会が限られているため、貴重な機会です。
- ★2026年2月3日(火)以降、一部展示替えを実施予定です。



『スパイ』(1957年)
フランス版ポスター



『マダムと泥棒』(1955年)
UK版ポスター(複製)



『反撥』(1964年)
UK版ポスター



『探偵〈スルース〉』(1972年)
日本公開版ポスター



『裏窓』(1954年)
USリバイバル版ポスター



『ガタカ』(1997年)
US版ポスター



『三十九夜』(1935年)
UK版ポスター(複製)



『三十九夜』(1935年)
UK版ポスター(複製)

お問い合わせ: 鎌倉市川喜多映画記念館(担当: 馬場、肥山)
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
TEL: 0467-23-2500 / FAX: 0467-23-2503
MAIL: contact@kamakura-kawakita.org
HP: <https://kamakura-kawakita.org>

※特別展情報や詳しい上映スケジュールは当館HP
(<https://kamakura-kawakita.org>)をご覧ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館